アリスケミカル株式会社

2024 年度 環境経営レポート

（対象期間:　　2024 年2月1日　～　2025年1月31日）

本社工場

®環境省
エコアクション21
認証番号0011811

作成日：　2025年04月25日

環 境 経 営 方 針

基本理念

アリスケミカル株式会社全社員は、わが社の経営理念である『自然との調和、社会との調和、人との調和を図れ』の精神に則り企業活動のすべての面、また私生活においても地球環境の保全に配慮して活動する。

基本方針

１．事業活動をするにあたり、環境に与える影響を的確にとらえ、環境負荷の低減に努める。

２．環境関連法規制及び条例を遵守し、社内で取り決めた規定に従う。

３．地球温暖化防止のため、電力及び化石燃料の使用に伴う二酸化炭素の削減に取り組む。

４．水道水の使用量削減に取り組む。

５．３Ｒ（Ｒｅｄｕｃｅ＝出さない、Ｒｅｕｓｅ＝再使用、Ｒｅｃｙｃｌｅ＝再利用）活動を推進し、廃棄物の削減に取り組む。

６．化学物質の適正な使用及び管理に努める。

７．製品・サービスの環境配慮を推進する。

８．環境マネジメントシステムを定期的に見直し、継続的な改善活動に取り組む。

９．この環境方針を全社員に周知するとともに、一般にも公開する。

制定日： 2016年09月01日
改定日： 2019年04月01日

代表取締役社長　萩原　健司

□組織の概要

（1）名称及び代表者名

アリスケミカル株式会社
代表取締役社長　萩原　健司

（2）所在地

本　社	大阪府東大阪市加納4丁目14番16号
第二工場	大阪府東大阪市加納6丁目4番28号
第三工場	大阪府東大阪市加納4丁目14番1号
関東事業所	埼玉県八潮市新町15番地

（3）環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	環境管理責任者	矢倉　康稔	TEL	:	072-965-1211
担当者	営業課長代理	矢倉　康稔	TEL	:	072-965-1211

（4）事業内容

合成樹脂用着色剤の製造販売

（5）事業の規模

	本社	第二工場	第三工場	関東事業所	合計
従業員　（人）	22	13	4	11	50
延べ床面積　（㎡）	418	765	357	684	2224

（6）事業年度　2024年 2月1日～　2025年　1月31日

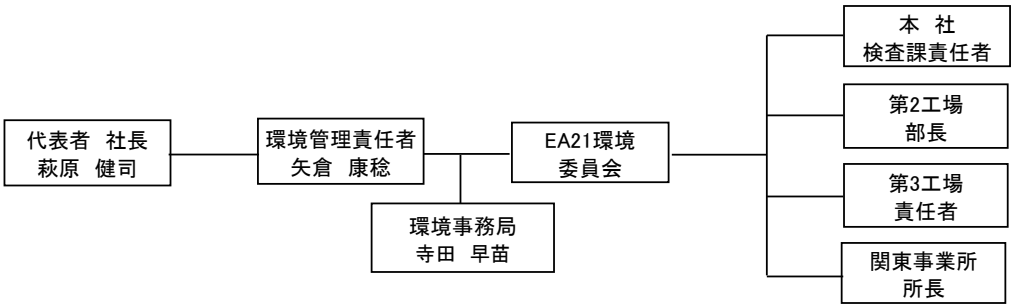
□認証・登録の対象組織・活動

登録事業者名：　アリスケミカル株式会社

対象事業所：　本社
第2工場
第3工場
関東事業所

活動：　合成樹脂用着色剤の製造販売

□実施体制図



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備
	・環境管理責任者を任命
	・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知
	・環境目標・環境活動計画書を承認
	・代表者による全体の評価と見直しを実施
	・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・環境関連法規等の取りまとめ表を承認
	・環境目標・環境活動計画書を確認
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境活動レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、の事務局
	・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施
	・環境目標、環境活動計画書原案の作成
	・環境活動の実績集計
	・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理
	・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
	・環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21環境委員会	・環境活動計画の審議
	・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境方針の周知
	・自部門の従業員に対する教育訓練の実施
	・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項　目	単位	2015年	2017年	2022年	2023年	2024年
二酸化炭素総排出量	kg-CO_2	222,193	226,659	241,065	254,266	273,110
廃棄物排出量	kg	11,217	11,506	10,921	12,913	15,325
一般廃棄物排出量	kg	10,927	11,316	10,921	12,333	15,325
産業廃棄物排出量	kg	290	190	0	580	0
総排水量	㎥	2,672	2,474	2,586	2,963	3,494

※電力の二酸化炭素排出量換算値　2015～2017年 関電：0.522、東電；0.533kg-CO2/kWhを使用
2018年～【2015年度調整後排出係数】
関電：0.496、東電；0.491kg-CO2/kWhを使用

二酸化炭素総排出量は環境目標にない都市ガス等を含む

□環境目標及びその実績

項　目 ＼ 年　度		基準値	2024年 上段：通年		2025年	2026年
		（基準度）	（目標）	（実績）	（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	184,866	179,320	224,687	179,320	179,320
	基準年比	2017年	97%	122%	97%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減（基準年9台/2024年13台 ※目標は総量でなく台数管理	kg-CO2	39,338	53,976	46,344	49,828	49,828
	kg-CO2/台	4,371	4,152	3,565	4,152	4,152
	基準年比-総量	2017年	137%	118%		
	基準年比/台	2017年	95%	82%	95%	95%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	224,204	233,296	271,031	229,148	229,148
	基準年比	2017年	104%	121%	100%	100%
一般廃棄物の削減	kg	10,927	10,381	15,325	10,381	10,381
	基準年比	2015年	95%	140%	95%	95%
水道水の削減	㎥	2,672	2,538	3,494	2,538	2,538
	基準年比	2015年	95%	131%	95%	95%
ＰＲＴＲ物質の管理	kg	831	適正管理	582	適正管理	適正管理
製品・サービスへの環境配慮		ＰＲＴＲ物質の管理	適正管理	○	適正管理	適正管理
		ミス・クレームの撲滅	適正管理	○	適正管理	適正管理

※：PRTR物質管理については、製品色材なので削減不可であるが、使用量管理を推進しています。

□環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標:○達成　×未達成
活動:○よくできた　△さらに取組が必要　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
電力による二酸化炭素削減		
数値目標	×	目標は達成できなかったが活動は浸透しているのでこのまま継続して活動するが関東事業所の移転に伴い使用量が増えているので基準年を移転後通年経過した今期に変更する
・空調温度の適正化（冷房２８℃　暖房２０℃）	○	
・不要照明の消灯	○	
・不要パソコン・プリンターの電源OFF	○	
・空気圧縮機のエア洩れ点検	○	
自動車燃料による二酸化炭素削減（台数あたり）		
数値目標	○	台数辺りの削減に変更、目標達成しこのまま活動を継続
・アイドリングストップ	○	
・急発進、急ブレーキの削減	○	
・不要な荷物を載せない	○	
一般廃棄物の削減		
数値目標	×	目標は達成できなかったが活動は浸透しているのでこのまま継続して活動するが関東事業所の移転に伴い使用量が増えているので基準年を移転後通年経過した今期に変更する
・分別の徹底	○	
・プリンターカートリッジの回収	○	
・梱包材の再利用	○	
水道水の削減		
数値目標	×	目標は達成できなかったが活動は浸透しているのでこのまま継続して活動するが関東事業所の移転に伴い関東事業所の使用量も把握できるようになったので基準年を移転後通年経過した今期に変更する
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	○	
PRTR物質		
・有害性物質の表示の徹底	○	対象商品に全表示
製品・サービスへの環境配慮		
・ＰＲＴＲ物質の管理	○	客先からの要望のＳＤＳはすべて発行　ＰＲＴＲ物質の数量は管理中
・ＳＤＳの活用	○	
・ミス、クレームの低減、撲滅	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物（汚泥）
騒音規制法・振動規制法	空圧機、射出成型機、押出機
フロン排出抑制法	業務用空調機
家電リサイクル法	テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコン
資源有効利用促進法	パソコン
顧客要求事項	化学物質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等は過去３年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

・昨年に続き、プラスチックに対する世間の関心が高くなってきています。業界としても環境に配慮した製品づくりが不可欠です。
そして、環境関連法規制が年々厳しくなっているので、随時、周知と対応を行ってください。

環境経営方針　☑変更なし　□変更あり
環境経営目標　□変更なし　☑変更あり
実施体制・他　☑変更なし　□変更あり

□環境活動の紹介

地域清掃活動の様子